

このまちに眠る中世の歴史を今

# 蘇る流鏑馬



地元天満宮（現在の池神社）での祭礼にて、流鏑馬を奉納していたと江戸時代初期（17世紀後半）の記録があります



馬の迫力ある走りや射手の卓越した技術が一体となり、的を素早く、正確に射抜いていきます



かすがわかみやごさいわいれいさき  
春日若宮御祭礼絵巻（17世紀）に描かれた、春日若宮おん祭の様子。長谷川党をはじめ奈良に散在する武士団が、芸能の一つとして流鏑馬を奉納しました

インバウンドをはじめ、より多くの人たちにこのまちをより深く知っていただくため、自治会や町観光協会、商工会などが協力しあって、唐古・鍵遺跡史跡公園に流鏑馬を復活させることとなりました。

今回、流鏑馬にまつわる歴史的な背景や関係者の声をお伝えし、その魅力を紹介します。

田原本町流鏑馬実行委員会事務局  
総合政策課地域プロモーション係 ☎ 33-9270

## Interview

### 田原本町と流鏑馬をつなぐ「春日若宮おん祭」

春日若宮おん祭は、春日大社の摂社である若宮へ五穀豊穡、疫病退散を祈る祭礼で、創始された平安時代以降、奈良に散在する武士団が芸能の一つとして流鏑馬を奉納していたと言われていました。武士団にとって、奈良中から人が集まる春日若宮おん祭での奉納は大きな栄誉でありました。



春日大社  
総務部長 藤岡信宏さん

田原本町では、武士団が地元の祭りの中で、流鏑馬を披露し、技芸の向上と武士団内部の絆を固め



▲春日若宮おん祭に使用される流鏑馬の装束や弓矢、的

たうえで、春日若宮おん祭での奉納に臨んだと言われていました。また、春日大社や興福寺の荘園があった場所でもあり、古くからの密接な関係があったと言えるでしょう。

田原本町が復活させる流鏑馬は、中世の武士が行っていた迫力あるものですが、春日若宮おん祭でも、全国的に類を見ない稚児による流鏑馬を奉納しています。それぞれに魅力があるので、歴史背景も含め、双方ともに楽しんでいただければと思います。

田原本町に眠る歴史と「流鏑馬」  
田原本町で「流鏑馬」というなじみがなく聞こえるかもしれませんが、実はこのまちの歴史を知ることができる要素の一つになります。  
流鏑馬は、武士がその技術を披露して、祭神を楽しませようという芸能の一つといわれ、春日大社の摂社若宮神社の祭祀として行われる「春日若宮おん祭」に、大和の武士が流鏑馬を奉納する習慣がありました。  
その中で大和六党という武士集団があり、田原本町域では、十市氏が主に刀禰を務めた「長谷川党」と呼ばれる武士団が活躍していました。

長谷川党の主要な構成員として、現法貴寺集落を拠点としたとされる「法貴寺一党」があり、春日若宮おん祭にて流鏑馬を奉納していたとされ、これは1384年の歴史書物「長川流鏑馬日記」に記載されています。  
時代が流れ大和の武士団は衰退しましたが、地元天満宮（現在の池神社）の祭礼にて流鏑馬の奉納があったと江戸時代初期・1672年の「法貴寺旧例寺役調書」に記録があります。  
唐古・鍵遺跡史跡公園で復活する流鏑馬を通して、弥生時代、中世、現代と、このまちの悠久の歴史を紐解きつけかけになればと思います。

# 奈良田原本流鏑馬まつり

**日時** 12月1日(日)

正午開始

**場所** 唐古・鍵遺跡史跡公園

**内容** 正午～池神社より行列開始

午後1時～

唐古・鍵遺跡史跡公園にて流鏑馬開始  
流鏑馬実施…弓馬術礼法小笠原教場

**主催** 田原本町流鏑馬実行委員会

会場に飲食  
ブースあり  
午前11時～



**新たな空気を吹き込む後押しになれば**  
まつり開催のきっかけとなった武士団のいた法貴寺の地域と隣接する唐古・鍵遺跡の周辺は、昨年史跡公園として整備され、桜の季節は多くの人でにぎわいます。そして今回、年間を通じて観光客に来ていただけるよう、冬季開催の運びとなりました。この取り組みを通じて、新しいファンが新たな空気を吹き込み、町活性化の後押しになればと思います。

間近で見る馬の迫力と高度な伝統技術をぜひご覧ください  
流鏑馬をご覧いただくうえで、まず外せないのは、疾走する馬たちの力強い姿です。そのスピードは約50キロにもなり、目の前を駆け抜ける迫りに圧倒されることでしょう。騎乗する射手の技もまた素晴らしいものです。馬上では手綱から手を離し、強靱な足腰の力で姿勢を保ちます。「矢継早」という言葉がありますが、その言葉通りに、秒単位の短い間隔で素早く射抜いていきます。普段簡単には見られない光景、伝統の技をぜひ目に焼き付けて、このまちにかつてあった中世時代の姿を想像していただければと思います。



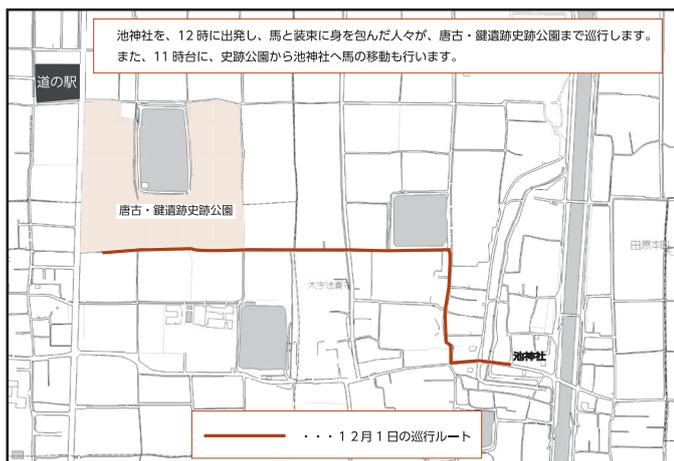
奈良市教育委員会  
事務局教育部 次長  
(弓馬術礼法小笠原教場門人)



◀前日の予定や、会場へのアクセスなど、詳しくは、ホームページをご確認ください

## 交通規制について

当日、下記の巡行ルートにて午前11時～午後1時の間で、行列横断のため必要箇所で一時的に通行止めを行いますので、ご協力をお願いします。



池神社を、12時に出発し、馬と装束に身を包んだ人々が、唐古・鍵遺跡史跡公園まで巡行します。また、11時台に、史跡公園から池神社へ馬の移動も行います。

## 観覧について

当日、どこからでも観覧(無料)できます。なお、馬が走る一番近くの場所に観覧席(有料)を設置いたします。

### ●観覧席を下記の通り先着で販売します

#### 日時・場所

- 11月13日(水) 午前10時～午後4時  
田原本町役場 2階・総合政策課窓口
- 11月16日(土) 午前10時～正午  
道の駅レスティ唐古・鍵北側入り口付近

#### 価格

1席 1,000円(1人2席まで)

#### 備考

各日100席ずつ販売します。  
なお、販売開始前に、販売場所で待機することはご遠慮ください。

## 皆様のご協力に感謝します

今回、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税などにより多大なご支援をいただいております。ご協力いただきました住民、企業の皆さんに心より感謝いたします。

### ご協力いただく企業の皆さん(50音順)

(株)ジェイテクト様、(株)品川工業所様、(株)天平庵様、奈良中央信用金庫様、奈良トヨタ自動車(株)様、南部環境開発(株)様、UCC 上島珈琲(株)様

### ●内閣府地方創生推進事務局から、以下の内容で評価をいただいています

企業版ふるさと納税は、志ある企業による寄附を通じて地方創生を応援するものです。田原本町では、独自の歴史文化遺産の活用により賑わいを創出する画期的な事業を実施されています。

今後も志ある企業とともに地方創生を推進し、人口減少・超高齢化社会に対応した持続可能な地域社会の形成を期待しています。

